

広島市立大学附属図書館報

# 知 恵 の 樹

growing in OZUKA

## 特集 ヒロシマを考えよう

夾竹桃の赤い花が咲く夏、広島で育った人も、大学生になって  
広島に来た人も、あらためて原爆について考えてみませんか。



### LOOK HERE!

#### ● 開館時間の変更について

定期試験前後、夏休み中は開館時間が変わります。  
詳しくは、ホームページの図書館カレンダーでご確認ください。

区 分	変更となる期間	開館時間
延長開館期間	7月14日(火)～8月5日(水)	8:45～20:00
夏季休業期間	8月10日(月)～9月30日(水)	8:45～17:00

#### ● 夏季休業期間中の特別貸出について

夏季休業に伴い、7月27日(月)から、図書の貸出期間を延長します(雑誌は除く)。  
貸出できる冊数は通常どおり10冊までです。

区 分	特別貸出期間	返却期限
学 部 生	7月27日(月)～9月18日(金)	10月8日(木)
大 学 院 生	7月27日(月)～9月7日(月)	10月8日(木)

#### ● 臨時休館について

8月18日(火)～8月31日(月)の間、蔵書点検のため図書館を臨時に休館します。

ご迷惑をおかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

#### ● 図書館 OPAC システム等の停止について

図書館及び情報処理センター等の機器更新にともない、次のとおりサービスを停止します。

8月15日(土)～17日(月)	大学情報ネットワークシステム等の停止 図書館 OPAC システム・図書館ホームページの停止
8月18日(火)～31日(月)	図書館 OPAC システム・図書館ホームページの一時停止
9月25日(金)～27日(日)	図書館 OPAC システム・図書館ホームページの停止

最新情報は図書館ホームページ <http://www2.lib.hiroshima-cu.ac.jp> でご確認ください。

# ヒロシマを考えよう

今回紹介するのは、原爆に関しては“古典”とも言えそうな代表的なものばかりです。

原爆被害を過去の一つの出来事としてではなく、今も刻み続けている事実として考えれば、古典から得るものも多いのではないのでしょうか。



## 概要を知る

### 『図録 ヒロシマを世界に』

広島平和記念資料館編，広島平和記念資料館，1999年【319.8 ヒロ 3F】

この本は、広島平和記念資料館の展示を、写真を中心に再構成して解説したものです。「被爆までの広島」から「平和への歩み」などの6章からなり、解説文には英文が併記してあります。巻末に関連年表や参考文献一覧、別添付録として「広島平和記念公園・周辺ガイドマップ」と「被爆建造物・樹木ガイドマップ」が付いています。展示を見た方には深く記憶にとどめる手がかりとして、まだ見ていない方には入門書としてお勧めです。また、記念碑めぐりにはマップが便利です。

この他に…

#### 『ヒロシマ・ナガサキ』

安齋育郎編，岩波書店，2007年【319.8 アン 3F】

#### 『都市の復興：広島被爆40年史』

広島都市生活研究会編，広島市企画調整局文化担当，1985年【518.8 ヒロ 2・3F】

#### 『広島原爆戦災誌』(全5巻)

広島市役所編，広島市，1971年【217.6 ヒロ 1～5 2・3F】

## ヒロシマを歩く

### 『ヒロシマをさがそう：原爆を見た建物』

山下和也・井手三千男・叶真幹著，西田書店，2006年【217.6 ヤマ 3F】

被爆者がいなくなったとき、私たちはどのようにして原爆の記憶を後世に伝えていけばいいのでしょうか。この本は被爆した建物を通じて、戦争体験のない世代が被爆の実相を想像し、継承していくことを願って書かれています。被爆した建物の前に立つことで、被爆時だけでなく被爆前にどんな街と暮らしがあったか、そのとき自分がここにいたらどうなっていたか、と想像することができます。

ハンディタイプなので、自分の眼と足で確かめるには最適です。

この他に…

#### 『広島長崎修学旅行案内：原爆の跡をたずねる 新版』

松元寛著，岩波書店，1998年【210.75 マツ 3F】

#### 『ガイドブック ヒロシマ：被爆の跡を歩く』

原爆遺跡保存運動懇談会編，新日本出版社，1996年【217.6 ケン 3F】

#### 『ヒロシマの被爆建造物は語る：未来への記録』

被爆建造物調査研究会編，広島平和記念資料館，1996年【217.6 ヒバ 2・3F】

## 体験記を読む

### 『原爆の子：広島の子のうったえ』（上・下）

長田新編，岩波書店，1990年【916オサ1・2 3F文庫】

広島文理科大学（現広島大学）の教員として自身も被爆した教育学者長田新は、原子爆弾が少年少女の精神にどのような影響を与えたかに強い関心を持ち、原爆投下の6年後、平和教育のための資料として被爆した少年少女の手記を集めました。1,175名の手記の中から105篇を選び、1951年8月6日に刊行したものがこの『原爆の子』です。エスペラント語をはじめ十数カ国語に翻訳され、今も世界中で読まれています。

この他に…

#### 『原爆体験記』

広島市原爆体験記刊行会編，朝日新聞社，1975年【916ヒロ 3F】

#### 『ヒロシマ 2005』

土田ヒロミ著，日本放送出版協会，2005年【319.8ツチ 3F】

#### 『絶後の記録：広島市原子爆弾の手記』

小倉豊文著，中央公論社，1982年【916オグ 3F】

## 被爆を伝える

### 『ヒロシマ 増補版』

ジョン・ハーシー（John Hersey）著，法政大学出版局，2003年【936ハシ 3F】

被爆後の広島に入ったジャーナリストやカメラマンたちは、取材や写真により被爆の事実を記録し、伝えようとしてきました。

著者は、1946年4月、「ライフ」、「ニューヨーカー」の記者として広島を訪れ、谷本清牧師、クラインソルゲ神父をはじめ6名の生存者を取材します。そして1946年8月31日付けの「ニューヨーカー」で、これら生存者の体験を広島に起きた事実の証言として発表します。この記事は、アメリカや世界各国に被爆の惨状を伝える大きな役割を果たしました。

『ヒロシマ 増補版』には、1946年記録と被爆から40年後の1985年に再びヒロシマを訪れその後の6人を取材して記した「ヒロシマ その後」が収録されています。

原文で読んでみたい方には英語版の『Hiroshima』（John Hersey 著，Vintage Books，1989年【936HE 3F】）もあります。

この他に…

#### 『爆心地ヒロシマに入る』

林重男著，岩波書店，1992年【916ハヤ 3F】

#### 『ヒロシマ』

土門拳[写真]，小学館，1985年【748ドモ 3F】

#### 『ヒロシマはどう記録されたか』

NHK出版編，日本放送出版協会，2003年【210.75ニホ 3F】

#### 『いしぶみ：広島二中一年生全滅の記録』

広島テレビ放送編，ポプラ社，2005年【210.75ヒロ 3F】



【 】の中は請求記号と配架場所です。

## 文学作品を読む

### 『小説集 夏の花』

原民喜著，岩波書店，1988年【913.6 ハラ 3F 文庫】

原民喜は、原子爆弾が投下される約7ヶ月前、郷里の広島に戻り、幟町で被爆しました。

「夏の花」では、泉庭（縮景園）、饒津公園、東照宮を経て八幡村（現広島市佐伯区）へと避難する間に著者が体験したこと、見たこと、聞いたこと、感じたことが淡々と綴られています。この作品は、避難中から記していたメモ（原爆被災時のノート）を元に1945年秋には執筆されましたが、発表されたのは1947年のことでした。

60年以上を経過した現在を生きる私たちにも、「このことを書き残さねばならない」という著者の強い思いと伝えたいことが確かに伝わってくる、まず読んでもらいたい一作です。

#### この他に…

『屍の街』（日本現代文学全集 現代名作選2）に収録

太田洋子著，講談社，1980年【918.6 ニホ 106 3F】

『黒い雨』

井伏鱒二著，新潮社，2003年【913.6 イブ 3F】

『管弦祭』

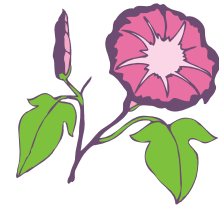
竹西寛子著，講談社，1997年【913.6 タケ 3F】

『新編原爆詩集』

峠三吉著，青木書店，1995年【911.56 トウ 3F】

『Hiroshima : Three Witnesses』

原民喜「夏の花」、太田洋子「屍の街」、峠三吉「原爆詩集」の英訳を収録  
Princeton University Press, 1990年【210.75M I 2F】



## 絵で見るヒロシマ

### 『原爆の図 新版』

丸木位里・丸木俊共同制作，原爆の図丸木美術館，1988年【723.1 マル 3F】

広島市安佐北区出身の画家丸木位里とその妻俊が共同で制作した作品です。原爆投下の3日後から二人は相次いで広島に入り、地獄さながらの惨状を目の当たりにしました。その痛ましい事実を伝え、二度と繰り返されることのないよう願いつつ描かれたのが、「幽霊」「火」「水」……「ながさき」に続く15連作の屏風絵です。

第1部から第14部は原爆の図丸木美術館（埼玉県東松山市）、第15部は長崎原爆資料館（長崎市）が所蔵しています。広島では「ひろしまの図」を広島市現代美術館で観ることができます。

#### この他に…

『広島・ヒロシマ・HIROSHIMA：国内外の制作委託作家78名によるヒロシマの心』

広島市現代美術館編，広島市現代美術館，1989年【720.87 ヒロ 3F】

『図録 原爆の絵：ヒロシマを伝える』

広島平和記念資料館編，岩波書店，2007年【319.8 ヒロ 3F】

## 漫画なら

### 『はだしのゲン』(全10巻)

中沢啓治著, 汐文社, 1988年【319.8ナカ1~10 3F】

漫画家中沢啓治が自身の被爆体験を元にして描いた漫画です。原爆の惨禍に直面しながらもたくましく生きていく主人公中岡元の姿が生き生きと描かれていて、今なお読み継がれています。広島では入門書として小学校の教室に置かれることも多く、子どもの頃読んだことのある人も少なくないのではないのでしょうか。

実写映画、アニメ映画、テレビドラマなどで映像化されているほか、世界各国でも翻訳されており、英語版(『Barefoot Gen』【319.8 NA1~8 3F】)は今夏全10巻がそろそろ予定です。図書館には、同じ著者による『はだしのゲンはヒロシマを忘れない』(岩波書店, 2008年【319.8ナカ 3F】)もあります。

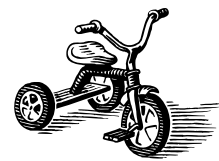
この他に…

#### 『夕凧の街 桜の国』

こうの史代著, 双葉社, 2004年【319.8コウ 3F】

#### 『Town of Evening Calm, Country of Cherry Blossoms』

Fumiyo Kouno, Last Gasp, [2006]年【319.8KO 3F】



## 映画なら

### 『原爆の子』

新藤兼人監督, 1952年作品【V778シン 3F】

「体験記を読む」でも紹介した『原爆の子』を題材にした広島出身の新藤兼人監督の作品です。

原爆投下から7年後、幼稚園の教師だった主人公がかつての園児たちを訪ねると、そこには原爆によって運命を狂わされた子ども達の姿がありました。被爆体験のある広島の子どものも出演し、原爆が人々に与えた計りしれない影響を伝えています。

この他に…

『父と暮せば』黒木和雄監督, 2004年作品【V778.21イ/ 3F】

『八月の狂詩曲』黒澤明監督, 1991年作品【V778カク 3F】

『夕凧の街 桜の国』佐々部清監督, 2007年作品【V778.21コウ 3F】

『第五福竜丸』新藤兼人監督, 1959年作品【V778シン 3F】

『鏡の女たち』吉田喜重監督, 2002年作品【V778.21ヨシ 3F】

この映画のロケ地として  
本学のキャンパス  
も使われています。

※DVDなどの視聴覚資料は図書館内でのみ利用ができます。

ケースに学生証を添えてカウンターへお持ちください。

**外国人被爆者について知る** 当時勉強や労働のため広島にいた外国人の被害も見逃せません。

『天の羊：被爆死した南方特別留学生』(「日本の原爆記録13」収録)

中山士朗[著], 日本図書センター, 1991年【916イエ13 3F】

『ヒロシマを持ちかえった人々：「韓国の広島」はなぜ生まれたのか 新装増補版』

市場淳子著, 凱風社, 2005年【369.37イチ 3F】

# わたしの一冊

**情報科学部 岩城敏 教授**

**「親鸞」五木寛之作（『中国新聞』連載中）**

仮にもロボット研究者の端くれならば、ASIMOV の「I, Robot」でも紹介すればカッコがつくのでしょうか、個人的には普段、ロボットや技術とは遠く離れた文芸作品を読むことが多いですね。その中で最近一番はまっている作品は何と言っても五木寛之作「親鸞」です。ですがこの作品、中国新聞の連載小説として現在進行形で毎日少しずつ掲載されているので、残念ながらもまだ「一冊」という形にはなっていないし、実際最後まで読んだ訳ではないのですが、本連載終了後ベストセラー小説になることは間違いないと確信し、その時学生諸君に是非読んでもらいたく、この場で紹介しちゃいます。

親鸞と言えば、中学校の歴史で、浄土真宗の開祖、南無阿弥陀仏、悪人こそ救われる、というキーワードは習いましたが、それ以上詳しいことはほとんどの人は知らないと思われる。実際私もこの小説で初めて親鸞の生き様を知ることになりました。

歴史小説は、一般的な史実になるべく忠実に合わせつつ、作家の自由な発想でストーリーを組み立てていきます。史実という与えられた制約（しかも様々な説が存在する）の中でどれくらいドラマチックな物語に仕立てられるのかが書き手の知識と力が試されるシビアな世界です。五木寛之はその制約の中で、小説としての楽しさを与えつつ、偉大なる宗教人の崇高な教えを分かりやすく骨太に伝えることに成功しています。（思えば私が学生の頃、青春の門でも随分お世話になりました。）

この小説の魅力は下記のようにまとめられます。

- (1) 新聞連載という性格上、一日分の分量の中で毎日読者を惹きつける小気味良いリズム感があるので長文に慣れていない読者でも、無理なく飽きずに読み続けることができる。
- (2) 大河小説として見た時、歴史上の登場人物がまるでその場に生きているようなライブ感・実在感をもって読者の目の前に復元され、映画では表現できない言葉の力を実感する。
- (3) 宗教小説として見た場合、難解な教えを物語の中で分かりやすく説いてくれて、欲にまみれた俗人の心の垢を流してくれる。その深い感動は、氷点、沈黙、罪と罰、カラマーゾフの兄弟、ベンハー、ダビンチコード（笑）等の歴史的名作にも優るとも劣らない。
- (4) 水戸黄門の助さん・格さん・風車の弥七・越後屋の腹黒旦那・悪代官のような分かりやすく親しみやすいキャラが絶妙のタイミングで登場し、コミック世代にもなじみ易い。

単行本になる前に今読みたければ、図書館の中国新聞バックナンバーを一つ一つ読み進める方法があります。絶対にお勧めの一冊です。

## 市大コーナー新着図書

- 『ニュース記事に学ぶ知的財産』 加藤直規著
- 『生殖革命と親・子』 家永登・上杉富之編（第1部2を野崎亜紀子先生が執筆されています）
- 『旧中工場アートプロジェクト』 加治屋健司・岡本芳枝・中村圭編
- 『萬來舎から学ぶ：広島のアートと都市計画』 「萬來舎から学ぶ—広島のアートと都市計画」実行委員会編
- 『大塚かぐや姫プロジェクト 2006-2008』 大塚かぐや姫プロジェクトチーム編
- 『広島市立大学芸術学部卒業修了作品展 第10回』
- 『広島市立大学芸術学部卒業修了作品展 第12回』
- 『Graduation works 2009』 広島市立大学芸術学部現代表現研究室編
- 『広島市立大学芸術学研究科彫刻専攻修了作品集 平成21年度』
- 『日本国憲法第9条成立の思想的淵源の研究：「戦争非合法化」論と日本国憲法の平和主義』 河上暁弘著

### 編集後記

今回は紙面を拡大して、ヒロシマを特集しました。これをきっかけに、図書館にある関係資料も手にとってもらえれば、と思っています。

今号から図書館カレンダーの掲載をやめました。カウンターに年間カレンダーがありますので、ご自由にお取りください。ホームページからもダウンロードできます。

2009年7月1日発行  
 広島市立大学附属図書館  
 広島市安佐南区大塚東3-4-1  
 TEL : (082) 830-1508  
 FAX : (082) 830-1659  
 E-mail tosho@lib.hiroshima-cu.ac.jp  
<http://www2.lib.hiroshima-cu.ac.jp>